

2020 年 6 月 12 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

弊社投資信託の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と弊社投資信託の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

弊社投資信託への影響

ファンド名	2020 年 6 月 11 日 基準価額(円)	2020 年 6 月 12 日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
世界優良株ファンド(3ヵ月決算型)	10,227	9,648	▲579	▲5.66
世界優良株ファンド(毎月決算型)	11,572	10,919	▲653	▲5.64
豪州高配当株ソインαファンド(毎月分配型)	1,446	1,363	▲83	▲5.74

(騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

◆ 市況情報

	2020 年 6 月 10 日	2020 年 6 月 11 日	騰落率 (%)
MSCI コクサイ・インデックス(米ドルベース)	2,306.90	2,185.22	▲5.27
S&P/ASX 200 Index	6,148.43	5,960.64	▲3.05

(小数点第 3 位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、6 月 10 日と 6 月 11 日と比較しています。

	2020 年 6 月 11 日	2020 年 6 月 12 日	騰落率 (%)
米ドル(対円レート)	107.01	106.69	▲0.30

(小数点第 3 位四捨五入)

為替レートは三菱 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値(TTM)、単位は円です。

	2020 年 6 月 10 日	2020 年 6 月 11 日	騰落率 (%)
豪ドル(対円レート)	74.97	73.60	▲1.83

(小数点第 3 位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、6 月 10 日と 6 月 11 日と比較しています。

為替レートはWMロイター社が発表するロンドン時間午後 4 時のレート、単位は円です。

出所:MSCI、スタンダード&プアーズ、ブルームバーグ

◆ 足許の市場動向

2020年6月11日の世界の株式市場は大幅に下落しました。前日の10日に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)後の記者会見の内容が、雇用回復に慎重な見方が示されるなど楽観的なものではなかったため、経済の回復にはまだ長い期間を要するとの観測が広がったことや、米国での新型コロナウイルスの感染者数が200万人を超え、フロリダやテキサスなど多くの州で新規感染者の増加がみられたことで感染第2波への警戒感が強まったことなどから、投資家心理は冷え込みました。このような中、ここ数カ月間の急速な株価の上昇に対する警戒感から、各国の株式市場は下落幅を拡大させる展開となりました。

上記のような市況動向の下、ファンドの基準価額は前営業日比で5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大の最悪期は過ぎたとの見方が広がり、アジアや欧米で経済活動の再開の動きがみられるものの、感染第2波への懸念や、感染防止策として実施されてきた都市封鎖などによる経済活動の停滞が世界経済に長期にわたって悪影響を及ぼすと金融市場で懸念されており、当面は変動性の高い相場展開が想定されます。しかしながら、各国では感染拡大の影響を受ける企業に対する救済やサプライチェーンの見直しといった対応、家計への所得補助策が講じられているほか、中央銀行も金融面での支援を継続しており、これらの対策が企業の資金繰りや家計の消費行動の円滑化につながると見込まれています。また、感染拡大が実体経済に及ぼす悪影響やそれらに対する政策の効果を見極めながら、各国が適切な対策を続けることで、金融市場は落ち着きを取り戻すとみています。さらには、各国が感染拡大防止への取り組みを継続することによって、感染拡大に収束の目途が立つことで、金融市場は健全さを取り戻し、株式市場も企業業績の回復に伴って、上昇軌道に戻るとみています。

以上

* 文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

* MSCI コクサイ・インデックスは MSCI が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は MSCI に帰属します。

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額・償還金額の0.6% または1口(設定時1口1万円)あたり250円

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年2.035%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。